

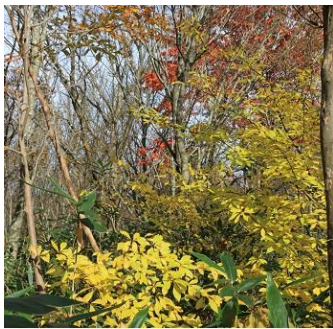
大山の森だより



世界に誇れる秋の大山

大山が錦に輝く季節がやってきました。大山の秋の美しさは格別であり、紅葉シーズンにはたくさんの観光客が訪れます。

森の紅葉の美しさは落葉広葉樹の種類に関係があります。日本の落葉広葉樹は、北米やヨーロッパと比べて圧倒的に種類が多く、それが秋に変化にとんだ美しいグラデーションで



山々を飾るのです。特に大山は落葉広葉樹の種類が多く、標高800m から1000m に広がるブナ・ミズナラ林には、クロモジやガマズミなど鮮やかな黄色や赤に紅葉する低木が多く見られます。

大山の紅葉シーズンは10月下旬から11月上旬です。ぜひ、大山の紅葉を愛でにお越しになる際は、森の中に生える低木にもご注目ください。



今年の大山の雪は多い？少ない？

大山ではナナカマドの実の成り方で冬の雪の量を占うことができると言われています。実の量が多ければ大雪、少なければ雪も少ないとのこと。昨年まで10年間の的中率は8割でしたが、今年はどうでしょうか？今年の成りは普通(判断は大山寺住民のイメージ)だそうです。久しぶりに大雪ではなさそうです！？



夏期 自然ふれあい事業 活動報告

大山の森で小鳥を呼ぼう

オリジナルの鳥笛とバードコール工作体験 **8月4日**



今回は山陰両県に住むベトナム人女性グループやネパール人家族の参加もあり、国際色豊かなイベントとなりました。完成後は大山森の遊歩道で鳥の観察も行いました。

大山古道「坊領道」と中国自然歩道の森を歩く

9月22日



大山寺集落までの森の道を歩きました。坊領道では石垣にたたくむ苔むしたお地蔵さまに歴史を感じ、さまざまなキノコなどを観察しました。

※6月30日の樹水高原・アサギマダラ観察会は悪天候のため中止になりました。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。裏面にイベント情報を掲載しています。

●森の幼稚園「michikusa」インタビュー

国立公園大山では、素晴らしい自然環境と施設を活用して様々な団体が活動しています。
今回は、森のようちえん michikusa さんの活動に注目してみました。



大山の森の中に、子どもたちの歓声がこだましています。

自由に走り回る子どもたちを温かい目で見守っているのが、えんちょう[※]の新妻麻奈美さんです。
新妻えんちょうに森のようちえんの活動について伺ってみました。

Q:「森のようちえんと普通の幼稚園は何が違うのですか？」

A:「森のようちえんは、基本室外、森の中、里山、川など自然の中で活動します。
自然の中で子どもたち自身の考え、発見を大切に、大人主導ではなく、子どもの世界を大事にして保育しています。」



Q:「いつから大山で活動していますか？」

A:「今年で活動5年目です。活動拠点は大山から離れているのですが、下山キャンプ場や豪円山キャンプ場、樹水高原など、大山周辺でも活動させて頂いています。」

Q:「大山で活動することの魅力はなんですか？」

A:「四季折々の豊かな自然を感じられるところです。見る、触れる、感じる、など本物の自然・生き物を近くで感じられることに魅力を感じています。」

Q:「自然公園財団は、管理する自然公園・国立公園を多くの方に活用していただき、その素晴らしい自然環境に親んでいただくことを目的に様々な事業を行っています。森のようちえんを大山で続けていくうえで、何か要望はありますか？」

A:「いつも大山に来ていろいろなところを利用させてもらってありがとうございます。自然公園財団への要望ではないのですが、大山にはたくさんのすてきな散歩コース、遊歩道、登山コースがあることを地元の方にも知ってほしいなあと思います。」



みなさまも大山の自然の中で楽しく遊ぶようちえん児を見かけたら、温かく見守ってくださいね。

※森のようちえん michikusa では、園長ではなく「えんちょう」と表記しています。

森のようちえん 全国交流フォーラム in とっとり

「大きな山のふもとで人の育ちを考える」

11月2(金)・3日(土)・4日(日)



会場:大山ホワイトパレス、大山総合体育館ほか

参加対象:森のようちえん実践者及び関心のある方

参加費:必要。詳しくはWEBでご確認ください。

※日帰り参加も可。10月19日(金)募集締め切り

2日(金):大友剛さん「絵本ライブ&マジックショー」、パネルディスカッション、西野博之さんスペシャルトーク、他

3日(土):落合恵子さんスペシャルトーク、分科会、他
分科会はS/A/B/Cからそれぞれ1コマ選択。

4日(日):あべ弘士さん基調講演、他

キッズプログラム:ポニーキャンプ、大山遊遊キッズ、プレーパーク、森のようちえん体験会(2日のみ)

詳しくは「とっとり森のようちえん会議」のHPをご覧ください
申し込み・問い合わせ <http://tottori-morinoyouchien.org/>



秋の木の実草の実探し 個性的な種(たね)紹介

秋は実りの季節。様々な草木が実を付けます。その中でも大山で見つけられる「これは何だ!？」と思ってしまうような個性的な実をご紹介します。※一部、実ではないものもあります。



ツリバナ

春の花は目立ちませんが、秋の個性的な実が目を引きまます。枝から下がる鮮やかな実を花に見立ててツリバナという名前がついた低木です。

実からぶら下がる橙色のものが種。

クマシテ

シテとは神社のしめ縄から下がる紙でできた飾りを言います。実が似ているのでシテという名が付けました。シテの中でもクマシテは特に実が立派。ミノムシのような実が枝からたくさん垂れ下がる姿は遠くからでもよく目立ちます。かさの間に小さな種が入っています。

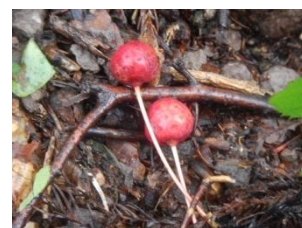


ミズキ

秋に大山の森を歩くと赤いサンゴのような枝がたくさん落ちています。これはミズキ(またはクマノミズキ)の実序の枝です。枝先の実が黒く熟するころ赤く色づき、実を食べて種をまき散らしてくれる鳥に目につきやすくなります。

ヤマボウシ

山帽子ではなく山法師。花と実を坊主頭に見立てて名前が付けました。赤い実は食べられます。やわらかい皮の下にオレンジ色の果肉が詰まっています。熱帯の果実のようなねっとりした甘さです。



クサギ

真紅のガクと藍色の果実が美しく目を引きまます。枝や葉からは古いゴマ油のような強いにおいがあるのでクサギ(臭木)と呼ばれますが、夏に咲く白い花からはユリのような素晴らしい香り。春の若葉は山菜として食べられます。

タムシバ

春にコブシそっくりの白い花を咲かせるタムシバの実です。ニオイコブシとも呼ばれ木全体から良い香りがしますが、特に実からの香りが強いです。熟すと赤い実が外に出て糸のようなもので垂れ下がります。大山では標高800メートル以上に多く生えています。




番外: ミズナラメウロコタマフシ

ミズナラの林で見つかる緑の松ぼっくりのようなもの。これは実ではなくて虫こぶです。フシというのは虫こぶのこと。昔は虫こぶを染料に使いました。この虫こぶはタマバチという小さなハチが作ったもので中に幼虫が入っています。



イベント情報（10月～12月）

■自然公園財団のイベント（予定 2018年9月27日現在）

<p>○秋の溪畔林を歩く。山陰の奥入瀬「木谷沢」 開催日：10月31日(水)9:00～12:00 会場：江府町御机 木谷沢 集合場所：奥大山スキー場駐車場 参加費：1000円 定員15名</p> 	<p>【内容】 紅葉に染まる木谷沢溪流を散策。 奥大山の秋を堪能します。 散策中に飲み物とお菓子を提供。 癒しの時間をお楽しみください。</p>
<p>○奥大山古道ウォーク（共催事業） 開催日：11月10日(土)8:30～15:00頃 会場：江府町【鍵掛峠⇒御机⇒笠良原(下蚊屋)】 集合場所：奥大山スキー場(エバーランド奥大山)駐車場 午前8時30分に受付開始 参加費：1000円 定員130名(10月5日から受付) ※詳しくは江府町のホームページをご覧ください。</p>	<p>【内容】 後醍醐天皇ゆかりの団子汁と 伝統の下蚊屋荒神神楽を堪能しながら 紅葉の奥大山古道を歩きます。</p> <p>●お問い合わせ先： 奥大山古道保存協議会事務局(0859-75-6610) 平日9:00～17:00</p>
<p>○木の実リースと木の葉のオブジェづくり 開催日：12月1日(土)9:00～12:00頃 会場：旧大山情報館2F 集合場所：旧大山情報館1F自然公園財団前 参加費：500円 定員20名</p>	<p>【内容】 木の実とついでクリスマスリースと 木の葉のオブジェを作ります。 リースとオブジェはプレゼント。 子どもも楽しめる企画です。</p> 

■周辺のイベント■

大山秋季大祭・秋のご縁日

10月24日(水)

時代衣装をまとった子供たちが大山寺参道を歩く「稚児行列」と、山伏たちが大山寺境内で巨大な護摩壇を焼く「彩灯大護摩法要」が見ものです。1000年以上続く大山寺の伝統行事です。



大山紅葉満喫ウォーク 10月27日(土) 7時～14時

大山寺(大山町)～ 榎水高原(伯耆町)～ 奥大山(江府町)

錦秋の大山環状道路を半日限定で歩行者に開放します。「見て、知って、感じる大山」をテーマに、見ごろの紅葉をゆっくりと歩いて楽しむウォーキングイベント。4コース。

詳しくは大山紅葉満喫ウォーク実行委員会事務局(0859-31-9629、9721)
 ※イベント期間中は、大山環状道路の榎水高原・エバーランド奥大山間を車両通行止めにしてあります。規制区間内を無料のシャトルバスが運行しています。



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33
 大山ナショナルパークセンター(旧大山情報館)1階
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370
 URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

